
FOMA USB インタフェースを利用するための技術参考資料

第1.1版

2008/1/25

株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ

目 次

1	はじめに	5
2	参考資料	5
3	語彙・略号	5
4	物理的条件	6
4.1	機器構成.....	6
4.2	コネクタ形状.....	6
4.3	USB 端子配置.....	7
5	パイプグループ	8
5.1	概念.....	8
5.2	パイプグループの構成.....	9
5.2.1	パイプグループの Type.....	9
5.2.2	Mode.....	12
5.3	Interface・Mode の構成例.....	14
6	Descriptor	15
6.1	USB Specification 準拠の Descriptor.....	15
6.1.1	Device Descriptor.....	15
6.1.2	Configuration Descriptor.....	16
6.1.3	Interface Descriptor.....	16
6.1.4	Endpoint Descriptor.....	17
6.2	USBCDC 準拠の Descriptor.....	18
6.2.1	Header Functional Descriptor.....	18
6.2.2	Call Management Functional Descriptor.....	18
6.2.3	Abstract Control Management Functional Descriptor.....	19
6.2.4	Union Functional Descriptor.....	19
6.3	GL-005 準拠の Descriptor.....	20
6.3.1	Mobile Abstract Control Model Specific Functional Descriptor.....	20
7	USB デバイスの状態	22
7.1	USB デバイスの状態.....	22
7.1.1	Attached 状態/Powered 状態.....	23

7.1.2	Default 状態	23
7.1.3	Address 状態	23
7.1.4	Configured 状態	23
7.1.5	Suspended 状態.....	24
7.2	FOMA の USB アイコン表示	24
7.3	パイプグループの状態遷移.....	25
7.3.1	UnLinked 状態	25
7.3.2	Linked 状態	25
7.3.3	Activated 状態.....	26
8	<i>Request と Notification</i>.....	27
8.1	Vendor Specific Request	27
8.1.1	ACTIVATE_MODE	27
8.1.2	GET_MODETABLE.....	28
8.1.3	SET_LINK.....	29
8.1.4	CLEAR_LINK.....	29
8.2	Vendor Specific Notification	30
8.2.1	REQUEST_ACKNOWLEDGE	30
8.3	Modem mode	31
8.3.1	Class Specific Request	31
8.3.2	Class Specific Notification.....	33
9	<i>シーケンス例</i>.....	35
9.1	USB デバイス状態の遷移	35
9.1.1	「Disconnected」→「Address」のシーケンス例	35
9.1.2	「Address」→「Configured」のシーケンス例	36
9.1.3	「Configured」→「Activated」のシーケンス例	37
9.2	Modem mode	38
9.2.1	モデム OPEN.....	38
9.2.2	モデムデータ送受信	39
9.2.3	モデム CLOSE	40
9.3	Object exchange mode.....	41
9.3.1	OBEX OPEN	41
9.3.2	OBEX データ送受信.....	42
9.3.3	OBEX CLOSE.....	43

9.4	AT command control mode	44
9.4.1	AT コマンド OPEN.....	44
9.4.2	AT コマンドデータ送受信	45
9.4.3	AT コマンド CLOSE.....	46

1 はじめに

本ドキュメントでは、FOMA端末と外部機器との間をUSBインタフェースで接続する機能について記載する。本機能により、外部機器にて、高速データ通信、音声通話(USBハンズフリー)、データ通信と音声通話のマルチアクセス、OBEX等のサービスが利用可能となる。

本ドキュメントはUSBレイヤに限定して記載しており、各機能の上位プロトコル・機能については記載しない。なお、各FOMA端末に実際に搭載されているサービスの有無により、本ドキュメントに記載されている機能の全部、または一部が使用できない場合がある。また、本ドキュメントに記載された内容は、今後の標準化や機能追加により変更される可能性がある。

2 参考資料

本ドキュメントにて参照している仕様書等を以下に示す。

- [1] MCPC GL-004 MCPC USB Implementation Guideline -Overview- Ver.1.0
- [2] MCPC GL-005 MCPC USB Implementation Guideline -Technical Specification- Ver.1.0
- [3] Universal Serial Bus Specification, revision 2.0
- [4] Universal Serial Bus Class Definitions for Communication Devices Ver.1.1
- [5] Universal Serial Bus Class Definitions for Audio Class Devices
- [6] ARIB TR-T12-27.A01 Ver.3.1.0
- [7] FOMA USB ハンズフリーを利用するための技術参考資料 第 1.0 版

3 語彙・略号

本ドキュメントで使用する略語・記号を以下に示す。

TE	: Terminal Equipment
MT	: Mobile Terminal
TA	: Terminal Adaptor
ARIB	: Association of Radio Industries and Businesses
CDC	: Communication Device Class
ADC	: Audio Device Class
UART	: Universal Asynchronous Receiver Transmitter

4 物理的条件

4.1 機器構成

本仕様における基本的な機器構成を図 4.1-1 に示す。

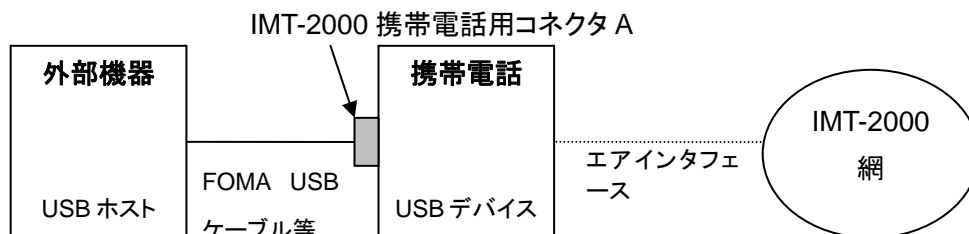


図 4.1-1 機器構成

携帯電話は USB デバイスであり、外部機器は USB ホストである必要がある。USB ホスト、USB デバイス、ホスツーデバイス間の信号フォーマット、基本的なプロトコル等については[3]を参照すること。

4.2 コネクタ形状

携帯電話側で使用するコネクタ(IMT-2000 携帯電話用コネクタ A)のコネクタ形状略図を図 4.2-1 に示す。詳細は、[6]を参照。

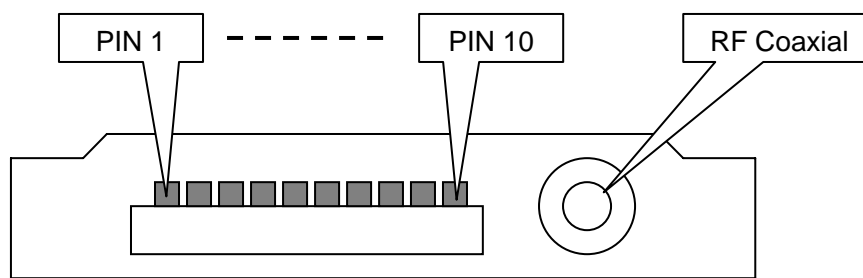


図 4.2-1 コネクタ形状略図

4.3 USB 端子配置

コネクタの端子配置を表 4.3-1 に示す。

表 4.3-1 USB 端子配置

Pin No	NAME	Direction		NOTE
		外部機器	携帯電話	
1	GND (USB GND)	---		
2	USB D+	<<<>>>		
3	USB D-	<<<>>>		
4	USB VBUS	>>>		
5	Power Supply	>>>		
6	Reserved	Not Defined		
7	Reserved	Not Defined		
8	Manufacturer Specific	>>>		
9	Reserved	Not Defined		
10	GND	---		
RF	RF TRX	<<<>>>		Coaxial

5 パイプグループ

5.1 概念

携帯電話内部には MT 機能部と複数の TA 機能部が存在し、各 TA 機能部は TE と論理的に 1 対 1 で接続される。

携帯電話と外部機器を USB で接続した場合、外部機器 (USB ホスト) は複数の TE 機能を持つことができる。この場合の移動機と外部機器の論理的構成例を図 5.1-1 に示す。図中の USB Interface の数、TA 機能部の数は一例として示している。

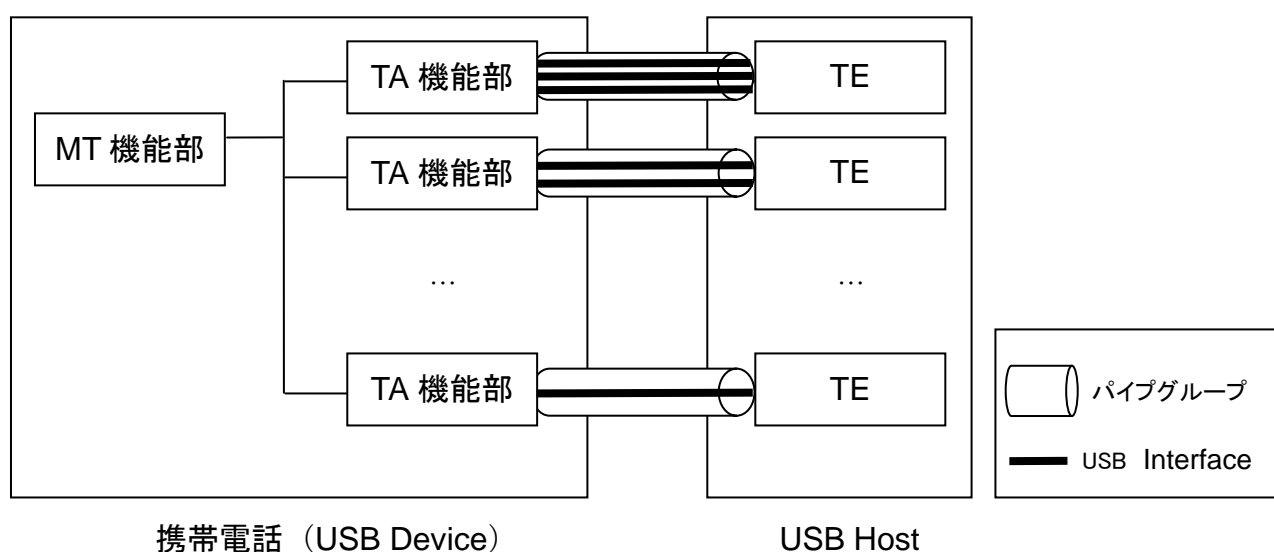


図 5.1-1 携帯電話と外部機器の論理的構成例 (USB 接続の場合)

パイプグループとは、一つの TA 機能部と一つの TE を接続する USB Interface を束ねたものである。USB Interface には、Communication Class Interface と Data Class Interface 等がある。以下ではパイプグループ、Communication Class Interface、Data Class Interface について説明する。

5.2 パイプグループの構成

パイプグループは、1個の Communication Class Interface と 0~2 個の Data Class Interface 等から構成される。Communication Class Interface では、機能制御信号が送受され、Data Class Interface ではユーザデータの送受が行われる。

Data Class Interface が1個の場合のパイプグループの概念図を、図 5.2-1 に示す。

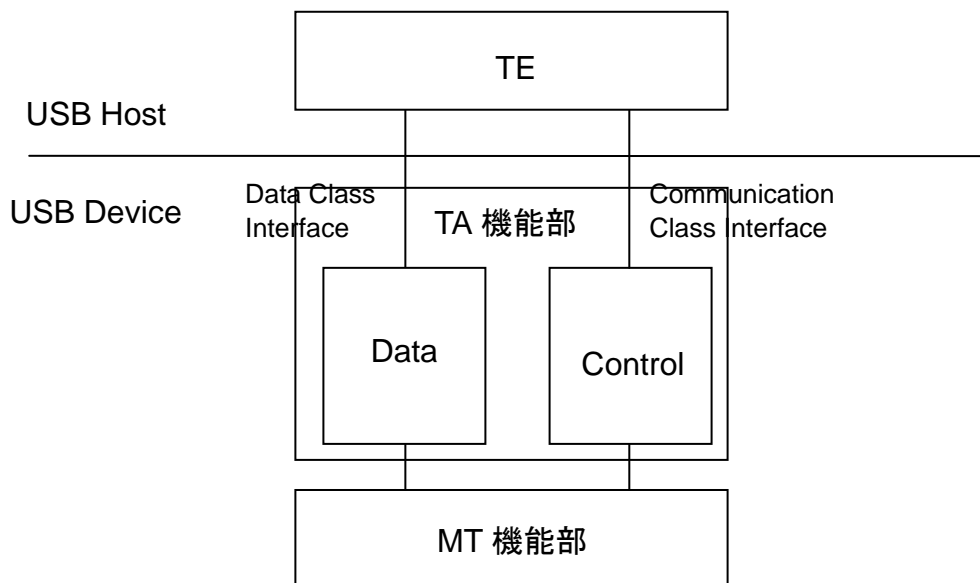


図 5.2-1 パイプグループの概念図

5.2.1 パイプグループの Type

以下では、パイプグループの主な Type を説明する。Type は、Data Class Interface の数と、エンドポイントの転送タイプによって分類される。各 Type の詳細については[2]を参照のこと。

5.2.1.1 Type AB-1

Data Class Interface を 2 つ持つ Type である。図 5.2-2 に Type AB-1 の Interface 構成図を示す。

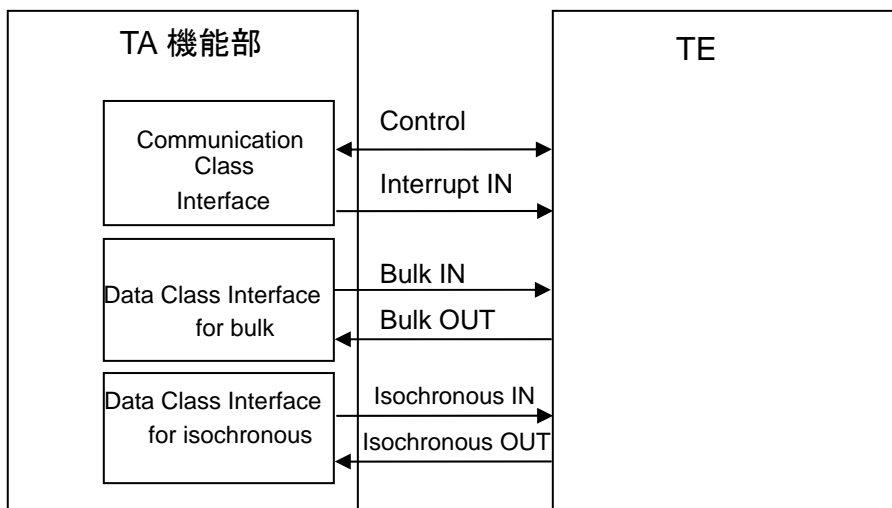


図 5.2-2 Type AB-1 の Interface 構成

5.2.1.2 Type AB-2

bulk 転送用 Data Class Interface を 1 つ持つ Type である。図 5.2-3 に Type AB-2 の Interface 構成図を示す。

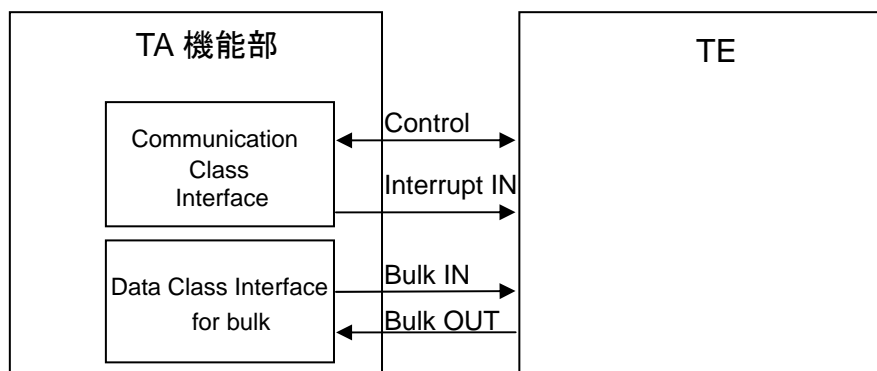


図 5.2-3 Type AB-2 の Interface 構成

5.2.1.3 Type AB-5

Communication Class Interface のみを持つ Type である。図 5.2-4 に Type AB-5 の Interface 構成図を示す。

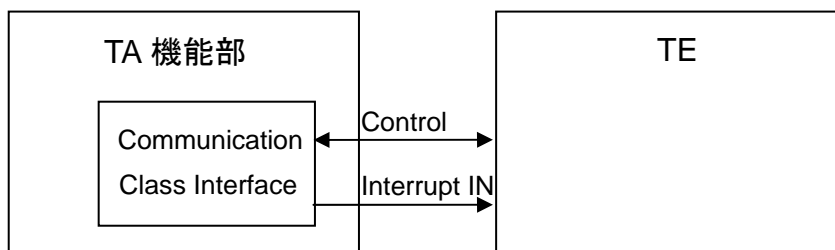


図 5.2-4 Type AB-5 の Interface 構成

5.2.1.4 Type AB-6

Communication Class Interface と Audio Class Interface を持つ Type である。図 5.2-5 に Type AB-6 の Interface 構成図を示す。

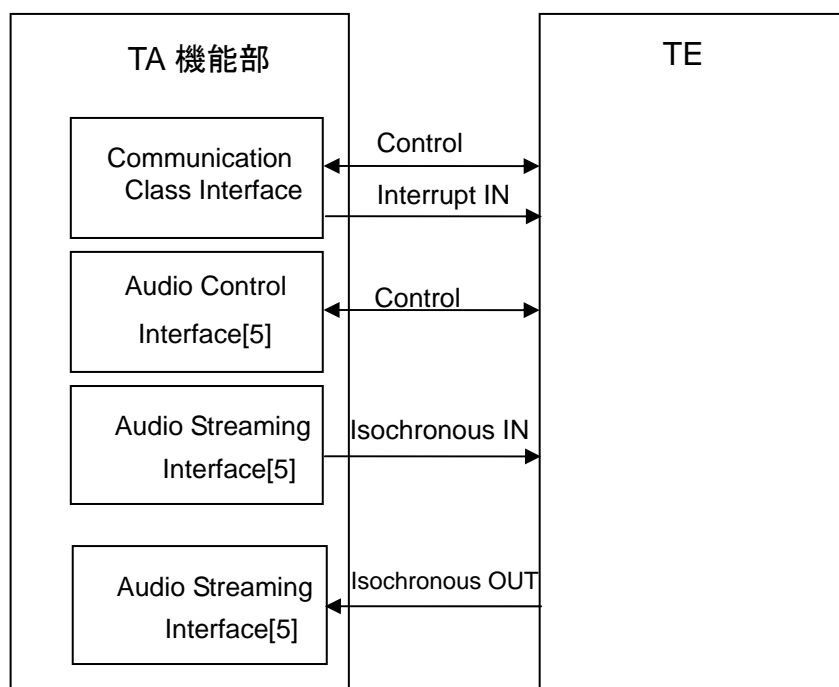


図 5.2-5 Type AB-6 の Interface 構成

5.2.2 Mode

Mode は、各パイプグループが実装する機能を定義する。1つのパイプグループが複数の Mode を実装する場合もある。以下では、各 Mode の扱うデータの種類やエンドポイントの転送タイプを記載する。転送タイプについては、[3]を参照。

なお、各パイプグループが実装する機能を実際に使用するためには、8章で説明する USB Request の1つ (ACTIVATE_MODE)によって、使用したい Mode を有効 (Activate) にする必要がある。(シーケンスは 9.1.3 章参照)

5.2.2.1 Modem mode

Modem mode は、Modem を使用する場合の Mode である。表 5.2-1 に Modem mode の Interface 構成を示す。

表 5.2-1 Modem mode の Interface 構成

Interface 名	転送タイプ	データの内容
Communication Class Interface		AT コマンド
Data Class Interface	Bulk 転送	ユーザデータ および AT コマンド

この Mode の実装が可能なパイプグループ: Type AB-1、AB-2

5.2.2.2 AT command control mode

USB ハンズフリーを用いる場合に使用する Mode である。表 5.2-2 に AT command control mode の Interface 構成を示す。USB ハンズフリーについては[7]を参照すること。

ただし、各 FOMA 端末に USB ハンズフリー機能が実装されているかどうかは、カタログや取扱説明書を参照すること。FOMA 端末が AT command control mode を持っていた場合でも、上位サービスとして USB ハンズフリー機能を実装していない場合がある。

表 5.2-2 AT command control mode の Interface 構成

Interface 名	転送タイプ	データの内容
Communication Class Interface		AT コマンド

この Mode の実装が可能なパイプグループ: Type AB-1、AB-2、AB-5、AB-6

5.2.2.3 Object exchange mode

Object exchange(OBEX)プロトコルを使用する場合の Mode である。表 5.2-3 に Object exchange mode の Interface 構成を示す。

表 5.2-3 Object exchange mode の Interface 構成

Interface 名	転送タイプ	データの内容
Communication Class Interface		—
Data Class Interface	bulk 転送	OBEX フレーム

この Mode の実装が可能なパイプグループ: Type AB-1、AB-2

5.3 Interface・Mode の構成例

パイプグループを3つ持ち、それぞれ Modem mode、Object exchange mode、AT command control mode をサポートする場合の Interface、Mode の構成例を図 5.3-1 に示す。

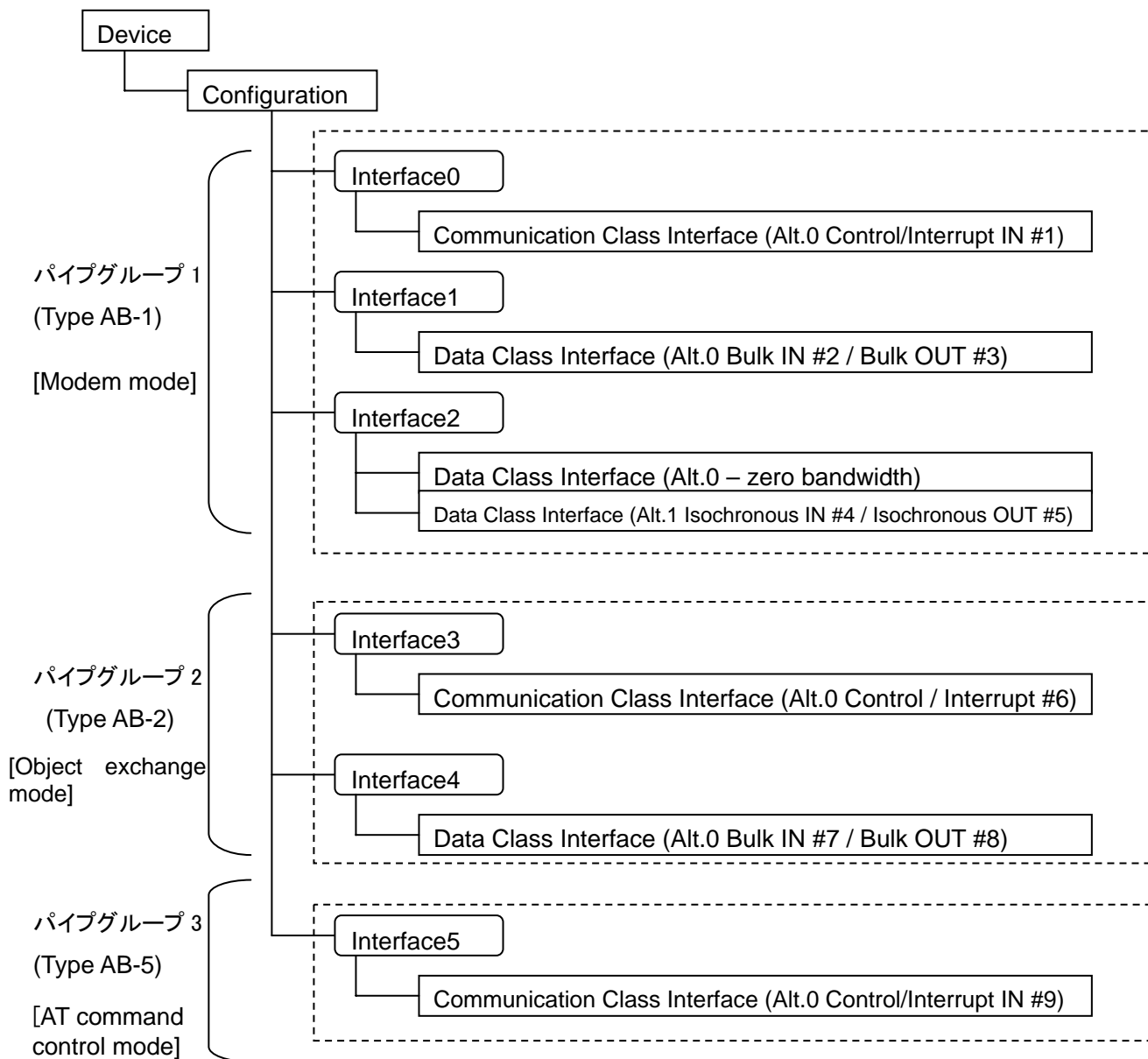


図 5.3-1 Interface、Mode の構成例

6 Descriptor

FOMA 端末に実装されている主な Descriptor を記載する。

表の値に「0xNN」「0xNNNN」と記載されている項目は、USB Interface 構成、エンドポイントの構成等により、FOMA 端末の機種によって異なる項目である。

6.1 USB Specification 準拠の Descriptor

USB Spec[3]に記載されている Descriptor のうち、FOMA 端末に実装されている主な Descriptor の概要を説明する。詳細は、[3]を参照すること。

6.1.1 Device Descriptor

USB デバイスは、(ひとつの)Device Descriptor を有する。Device Descriptor には、USB デバイスの情報(デバイス構成等)が定義されている。表 6.1-1 に Device Descriptor の詳細を示す。

表 6.1-1 Device Descriptor

Offset	Field	Size	Value	Description
0	bLength	1	0x12	Descriptor Size
1	bDescriptorType	1	0x01	Device Descriptor
2	bcdUSB	2	0x0200	USB Rev
4	bDeviceClass	1	0xNN	Device Class
5	bDeviceSubClass	1	0xNN	Device Subclass
6	bDeviceProtocol	1	0xNN	Protocol Code
7	bMaxPacketSize0	1	0xNN	エンドポイント 0 の最大 packet サイズ
8	idVendor	2	0xNNNN	Vendor ID
10	idProduct	2	0xNNNN	Product ID
12	bcdDevice	2	0xNNNN	USB 部分のファームウェアバージョン
14	iManufacturer	1	0x01	製造業者の名前を示す String Descriptor の Index
15	iProduct	1	0x02	製品の名前を示す String Descriptor の Index
16	iSerialNumber	1	0x03	IMEI 番号を示す String Descriptor の Index
17	bNumConfigurations	1	0xNN	Configuration の数

GL004[1]、GL005[2]に準拠する USB デバイスである場合、bDeviceClass、bDeviceSubClass、bDeviceProtocol の値は 0xFF である。

6.1.2 Configuration Descriptor

Configuration Descriptor は USB デバイスの Configuration 情報を示す。

「bConfigurationValue」は、各 Configuration の ID 番号である。USB ホストが使用したい Configuration を指定する場合には、「SetConfiguration」Request により「bConfigurationValue」の値を指定する。なお、このときの USB デバイスの状態を「Configured」状態と呼ぶ（7.1.1 章および 9.1.2 章参照）。表 6.1-2 に Configuration Descriptor を示す。

表 6.1-2 Configuration Descriptor

Offset	Field	Size	Value	Description
0	bLength	1	0x09	Descriptor Size
1	bDescriptorType	1	0x02	Configuration Descriptor
2	wTotalLength	2	0xNNNN	本 Configuration の Descriptor の Size
4	bNumInterfaces	1	0xNN	Interface 数
5	bConfigurationValue	1	0xNN	Configuration の ID 番号
6	iConfiguration	1	0xNN	Configuration の名前 Index
7	bmAttributes	1	0xNN	USB デバイスへの電源供給方法／リモートウェイクアップ機能の有無
8	MaxPower	1	0xNN	バスからの消費電流

bmAttributes の値が 0xE0 の場合は「Self-powered」かつ「リモートウェイクアップ有り」であることを、0xC0 の場合は「Self-powered」かつ「リモートウェイクアップ無し」であることを示す。

6.1.3 Interface Descriptor

Interface Descriptor は Interface に関する情報を持つ Descriptor である。Configuration の構成要素の一つであり、各 Configuration には最低1つの Interface Descriptor が含まれる。

表 6.1-3 に Interface Descriptor を示す。

表 6.1-3 Interface Descriptor

Offset	Field	Size	Value	Description
0	bLength	1	0x09	Descriptor Size
1	bDescriptorType	1	0x04	Interface Descriptor
2	bInterfaceNumber	1	0xNN	Interface 番号
3	bAlternateSetting	1	0xNN	代替設定値
4	bNumEndpoints	1	0xNN	使用エンドポイント数
5	bInterfaceClass	1	0xNN	Interface Class
6	bInterfaceSubClass	1	0xNN	Interface Subclass
7	bInterfaceProtocol	1	0xNN	Protocol Code
8	iInterface	1	0xNN	Interface 名

bInterfaceClass の値が 0x02 の場合は「Communication Class Interface」、0x0A の場合は「Data Class Interface」であることを示す。

6.1.4 Endpoint Descriptor

Endpoint Descriptor は、USB Interface 内に存在するバッファを説明する Descriptor である。

なお、Endpoint0 は、Endpoint Descriptor を持たない(Device Descriptor の情報に含まれるため)。表 6.1-4 に Endpoint Descriptor を示す。

表 6.1-4 Endpoint Descriptor

Offset	Field	Size	Value	Description
0	bLength	1	0x07	Descriptor Size
1	bDescriptorType	1	0x05	Standard Endpoint Descriptor
2	bEndpointAddress	1	0xNN	エンドポイント番号 ; 転送方向 IN/OUT
3	bmAttributes	1	0xNN	転送タイプ
4	wMaxPacketSize	2	0xNNNN	最大パケットサイズ
6	bInterval	1	0xNN	転送間隔

bmAttributes の値が 0x01 の場合は「Isochronous 転送」を、0x02 の場合は「Bulk 転送」を、0x03 の場合は「Interrupt 転送」を示す(転送方向が OUT の場合)。

6.2 USBCDC 準拠の Descriptor

CDC[4]に記載されている Descriptor のうち、FOMA 端末に実装されている主な Descriptor の概要を説明する。詳細は、[4]を参照すること。

6.2.1 Header Functional Descriptor

Communication Interface Class の Descriptor のひとつである。表 6.2-1 に Header Functional Descriptor を示す。

「bcdCDC」フィールドは、Interface と Descriptor が準拠する CDC[4]のバージョンを示す。例えば、bcdCDC の値が 0x0110 の場合、CDC バージョン 1.1 準拠であることを示している。

表 6.2-1 Header Functional Descriptor

Offset	Field	Size	Value	Description
0	bFunctionLength	1	0x05	Descriptor Size
1	bDescriptorType	1	0x24	Class Specific Interface Descriptor
2	bDescriptorSubType	1	0x00	Header Functional Descriptor
3	bcdCDC	2	0xNNNN	CDC バージョン

6.2.2 Call Management Functional Descriptor

Call Management Functional Descriptor は「Communication Class Interface」における呼制御について記述されている Descriptor である。表 6.2-2 に Call Management Functional Descriptor を示す。

表 6.2-2 Call Management Functional Descriptor

Offset	Field	Size	Value	Description
0	bFunctionLength	1	0x05	Descriptor Size
1	bDescriptorType	1	0x24	Class Specific Interface Descriptor
2	bDescriptorSubType	1	0x01	Call Management Functional Descriptor
3	bmCapabilities	1	0xNN	Capabilities (このパイプグループがサポートする呼制御方法)
4	bDataInterface	1	0xNN	呼制御を行う Data Class Interface 番号

bmCapabilities の値が 0x03 の場合は、「Data Class Interface」と「Communication Class Interface」の両方で AT コマンド転送可能であることを示す。(ただし、この場合でも、「Data Class Interface」と「Communication Class Interface」でサポートするコマンドは異なる場合がある。)

6.2.3 Abstract Control Management Functional Descriptor

Abstract Control Management Functional Descriptor は Communication Class Interface でサポートするコマンドを定義する Descriptor である。この Descriptor は Communication Interface Class の Descriptor のひとつである。表 6.2-3 に Abstract Control Management Functional Descriptor を示す。

表 6.2-3 Abstract Control Management Functional Descriptor

Offset	Field	Size	Value	Description
0	bFunctionLength	1	0x04	Descriptor Size
1	bDescriptorType	1	0x24	Class Specific Interface Descriptor
2	bDescriptorSubType	1	0x02	Abstract Control Management Functional Descriptor
3	bmCapabilities	1	0xNN	Capabilities(このパイプグループがサポートする USB Request、Notification)

bmCapabilities の値が 0x06 の場合、「Send_Break」「Set_Line_Coding」「Set_Control_Line_State」の Request、「Serial_State」の Notification をサポートすることを意味する。

6.2.4 Union Functional Descriptor

Union Functional Descriptor は、パイプグループを構成している複数の Interface を定義する Descriptor である。この Descriptor は、Communication Interface Class の Descriptor のひとつである。表 6.2-4 に Union Functional Descriptor を示す。

表 6.2-4 Union Functional Descriptor

Offset	Field	Size	Value	Description
0	bFunctionLength	1	0xNN	Descriptor Size
1	bDescriptorType	1	0x24	Class Specific Interface Descriptor
2	bDescriptorSubType	1	0x06	Union Functional Descriptor
3	bMasterInterface	1	0xNN	Master Interface (Communication Class Interface Number 0)
4	bSlaveInterface 0	1	0xNN	Slave Interface 0 (Data Class Interface Number 1)
.
.

Offset	Field	Size	Value	Description
N+4	bSlaveInterface N	1	0xNN	Slave Interface N (Data Class Interface Number N)

6.3 GL-005 準拠の Descriptor

GL005[2]に記載されている Descriptor のうち、FOMA 端末に実装されている主な Descriptor の概要を説明する。詳細は、[2]を参照すること。

6.3.1 Mobile Abstract Control Model Specific Functional Descriptor

Mobile Abstract Control Model Specific Functional Descriptor は、各パイプグループでサポートする Mode を示す Descriptor である。表 6.3-1 に Mobile Abstract Control Model Specific Functional Descriptor を示す。

表 6.3-1 Mobile Abstract Control Model Specific Functional Descriptor

Offset	Field	Size	Value	Description
0	bFunctionLength	1	0xNN	Descriptor Size
1	bDescriptorType	1	0x44	Vendor Specific Interface Descriptor
2	bDescriptorSubtype	1	0x11	Mobile Abstract Control Model Specific Descriptor
3	bType	1	0xNN	パイプグループの Type 名
4	bMode_0	1	0xNN	このパイプグループでサポートする Mode
.
.
N+4	bMode_N	1	0xNN	このパイプグループでサポートする Mode

bType 値を表 6.3-2 に示す。詳細は、[2]を参照すること。

表 6.3-2 bType 値

Type	Value
Type AB-1	01h
Type AB-2	02h
Type AB-5	05h
Type AB-6	06h

bMode_N 値を表 6.3-3 に示す。詳細は、[2]を参照すること。

表 6.3-3 bMode_N 値

Mode	Value
DeActivated	00h
Modem mode	01h
AT command control mode	02h
Object exchange mode	60h
Reserved (Vendor Specific)	C0~FEh
Unlinked	FFh

7 USB デバイスの状態

7.1 USB デバイスの状態

図 7.1-1 に USB デバイスの状態遷移図を示す。また、各状態に関して以下に説明する。ただし、詳細は[3]を参照すること。

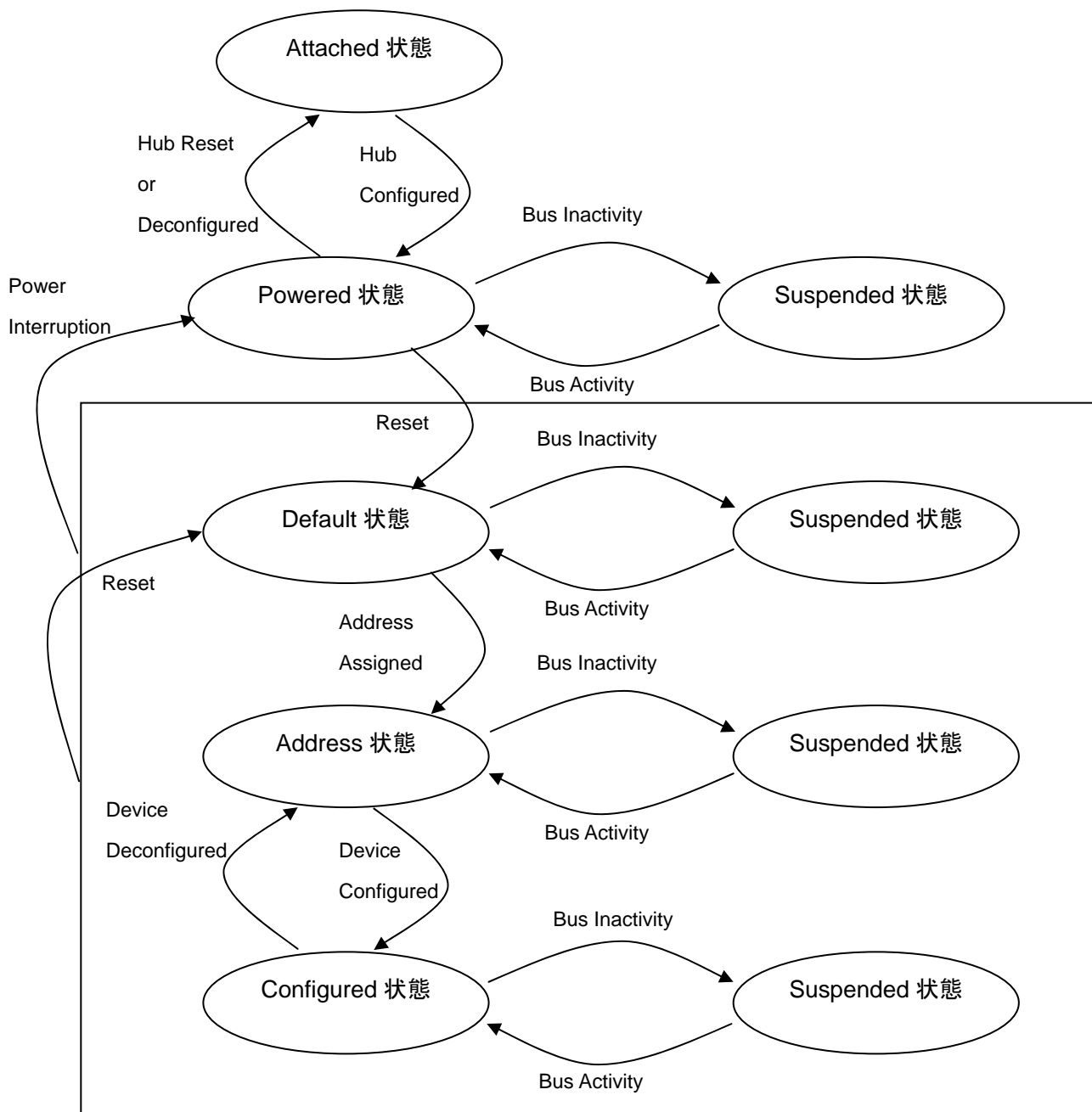


図 7.1-1 USB デバイス状態遷移

7.1.1 Attached 状態/Powered 状態

「Attached」状態とはデバイスがUSBホストと物理的に繋がっているが、電源供給されていない状態である。

「Powered」状態とはUSBホストからUSBデバイスに電源供給されているが、論理的には繋がっていない状態である。

USB デバイスは電源供給が行われたとき、「Attached」状態から「Powered」状態へ変化する。ここで、電源供給する方法は、Bus-PoweredとSelf-Poweredとの2種類の方法がある。Bus-Poweredは、USBケーブルを通して、上位のハブかUSBホストから電源供給を行う方法である。この場合、USBケーブルが繋がったときに電源供給が開始されるため、USBケーブル接続と同時に「Attached」状態から「Powered」状態へ変化する。一方、Self-Poweredは、USBデバイスが自分用の電源を内蔵している方法である。この場合、USBケーブル接続に加えて、USBデバイスの電源ONを行って始めて「Powered」状態になる。

「Powered」状態のUSBデバイスは、USBホストとバストランザクション通信を行うことはできない。バストランザクション通信を行うためには、次の「Default」状態へ遷移する必要がある。

7.1.2 Default 状態

「Default」状態とは、デフォルトアドレスによりUSBホストとのバストランザクション通信が可能な状態である。USBホストがUSBデバイスの接続を検出すると、RESET信号を送信する。USBデバイスは、RESET信号を検出すると内部リセットを実行して「Default」状態になる。この時、USBホストはデフォルトアドレスによりこのUSBデバイスとのバストランザクション通信が可能となる。

7.1.3 Address 状態

「Address」状態とは、USBデバイスにBus上で固有のアドレスが割り当てられ、このアドレスによりUSBホストとのバストランザクション通信が可能な状態である。

USBデバイスが「Default」状態であり、USBホストがUSBデバイスに対して「Get_Descriptor」を送信した場合、USBデバイスはUSBホストへ「Device Descriptor」のデータを応答する。これによりUSBホストはUSBデバイスのデバイス構成を知ることができる。次にUSBホストは、USBデバイスに対して、使われていないアドレスを割り当てるために「Set_Address」を送信する。これにより、USBデバイスは特定のアドレスを持つこととなる。この状態が「Address」状態である。(9.1.1章参照)

このように、USBホストがUSBデバイスに固有のアドレスを割り当てることにより、USBホストは複数のUSBデバイスと通信を行うことが可能になる。

7.1.4 Configured 状態

「Configured」状態とは、USBデバイスやエンドポイントを使用可能な状態へ設定し、データ通信が可能な状態である。

「Address」状態になった後、USBホストは「Get_Descriptor」を送信することにより、USBデバイスから「Device Descriptor」や「Configuration Descriptor」などのDevice Configurationデータを受信する。USBホストは、本情報を利用して、USBデバイスのどのConfigurationを用いるかを選択し、選択したConfiguration

の ID 番号を「Set_Configuration」により USB デバイスへ送信する。Configuration の指定が行われると、USB デバイスはデバイスやエンドポイントを使用可能な状態へ設定し、データ通信が行える状態になる。(9.1.2 章参照)

7.1.5 Suspended 状態

USB デバイスの消費電力を節約するために、USB バスがアクティブでない状態が一定時間続いた場合には、USB デバイスは自動的に「Suspended」状態に入る。サスペンドした場合でも、USB デバイスはアドレスや Configuration 等の内部状態を維持する。

7.2 FOMA 端末の USB アイコン表示

FOMA 端末の USB アイコン表示について説明する。

FOMA 端末が USB ホストと接続され、「Configured」状態または、「Configured」状態から遷移した「Suspended」状態である時、FOMA 端末画面上に USB 接続を示すアイコン (USB アイコン) が表示される。

上記以外の状態となった場合、USB アイコンは非表示となる。図 7.2-1 に USB デバイス状態と USB アイコン表示の関係を示す。

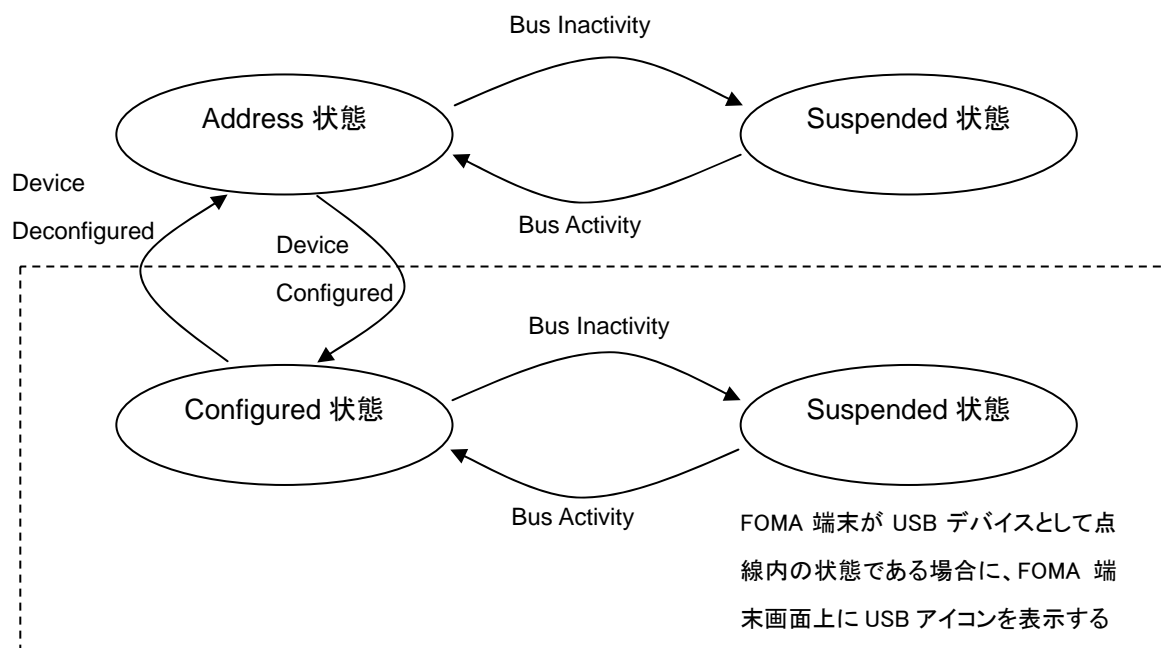


図 7.2-1 USB デバイス状態と USB アイコン表示の関係

7.3 パイプグループの状態遷移

パイプグループの状態遷移について説明する。USB デバイスが前章で説明した「Configured」状態へ遷移した後、各パイプグループが以下で示す状態遷移を行うことで、各 Mode の機能を使用可能な状態となる。

図 7.3-1 にパイプグループの状態遷移を示す。詳細は、[1][2]を参照すること。

7.3.1 UnLinked 状態

「UnLinked」状態とは、USB ホストがパイプグループで使用する Mode を設定していない状態である。

USB デバイスが「Configured」状態になった直後は、すべてのパイプグループが「UnLinked」状態である。USB ホストが USB デバイスの各機能を使用する場合は、USB デバイスを「Linked」状態を経て「Activated」状態へ遷移させる必要がある。

また、下記で説明する「Linked」「Activated」状態時に USB ホストから「CLEAR_LINK」Request (8.1.4 章参照)を受信すると、指定されたパイプグループの状態は「UnLinked」状態になる。

7.3.2 Linked 状態

「Linked」状態とは、パイプグループで使用する Mode を USB ホストが設定している状態のことである。

USB デバイスが USB ホストから「SET_LINK」Request (8.1.3 章参照)を受信すると、指定されたパイプグループの状態は「Linked」状態になる。USB ホストが USB デバイスの各機能を使用する場合は、USB デバイスを「Activated」状態へ遷移させる必要がある。

また、USB デバイスが「Activated」状態時に、USB ホストから「ACTIVATE_MODE(deactivate)」Request を受信すると、指定されたパイプグループの状態は、「Linked」状態となる。

7.3.3 Activated 状態

「Activated」状態とは、USB ホストにより Mode が設定され、Mode で規定された機能(Modem、OBEX 等)が使用可能な状態のことである。

例えば、USB デバイスが、USB ホストから「ACTIVATE_MODE(Modem)」Request (8.1.1 章参照)を受信すると、パイプグループの状態は「Linked」状態から「Activated」状態になり、Modem 機能が使用可能となる。(9.1.3 章参照)

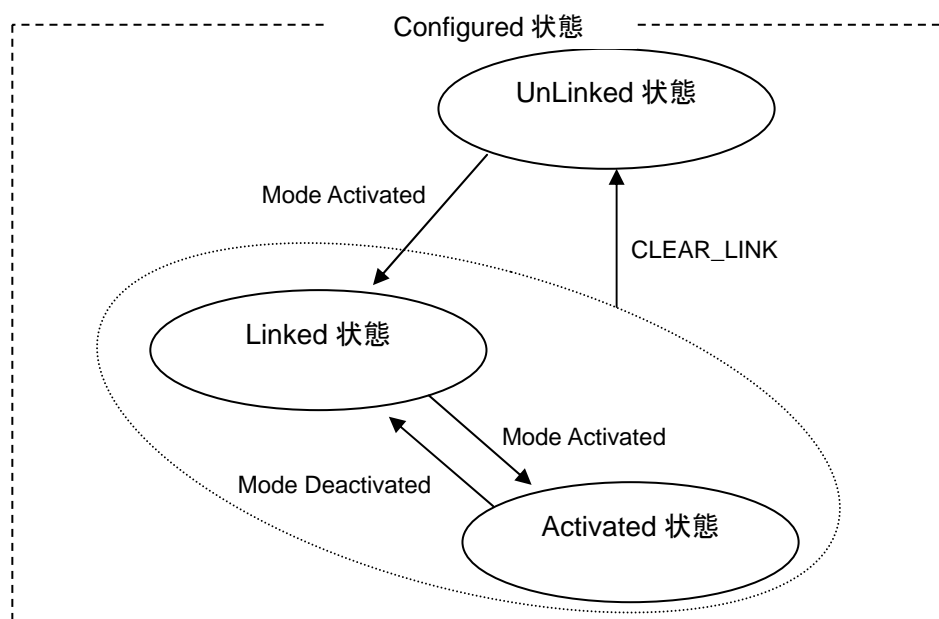


図 7.3-1 パイプグループの状態遷移

8 Request と Notification

本章では FOMA 端末に実装されている Vendor Specific Request と Vendor Specific Notification の概要を説明する。詳細は、[1][2]を参照すること。

8.1 Vendor Specific Request

表 8.1-1 に FOMA 端末に実装されている Vendor Specific Request を示す。

表 8.1-1 FOMA 端末に実装されている Vendor Specific Request

bmRequestType	bRequest	wValue	wIndex	wLength	Data
01000001B	ACTIVATE_MODE	Mode Selector	Interface	00	None
11000001B	GET_MODETABLE	Connection Model Selector	Interface	Length of mode table	Mode Table (device side)
01000001B	SET_LINK	Connection Model Selector	Interface	Length of mode table	Mode Table (Host Side)
01000001B	CLEAR_LINK	Connection Model selector	Interface	00	None

また、各 Request の bRequest 値を表 8.1-2 に示す。

表 8.1-2 bRequest 値

bRequest	Value
ACTIVATE_MODE	60h
GET_MODETABLE	61h
SET_LINK	62h
CLEAR_LINK	63h

8.1.1 ACTIVATE_MODE

ACTIVATE_MODE は、指定した mode(表 6.3-3 参照) を使用可能な状態にするための Request である。この Request は、あらかじめ USB デバイスが SET_LINK Request により「Linked」状態である場合に有効となる。(9.1.3 章参照)表 8.1-3 に ACTIVATE_MODE を示す。

表 8.1-3 ACTIVATE_MODE

bmRequestType	BRequest	wValue	wIndex	wLength	Data
01000001B	ACTIV-ATE_MODE	Mode Selector	Interface	00	なし

wValue に設定する Mode Selector のフォーマットを表 8.1-4 に示す。

表 8.1-4 Mode Selector のフォーマット

D7	D6	D5	D4	D3	D2	D1	D0
Mode Number(bMode_X の値)							
D15	D14	D13	D12	D11	D10	D9	D8
Reserved(Reset to zero)							

8.1.2 GET_MODETABLE

GET_MODETABLE は、USB デバイスから Mode Table (パイプグループでサポートする Mode の一覧) を取得する際に用いられる Request である。表 8.1-5 に GET_MODETABLE を示す。

表 8.1-5 GET_MODETABLE

bmRequestType	bRequest	wValue	wIndex	wLength	Data
11000001B	GET_MODETABLE	Connection Model Selector	Interface	Length of Mode Table	Mode Table (Device Side)

Mode Table の値は表 8.1-6 を参照。Connection Model selector 値は表 8.1-9 を参照。

表 8.1-6 Mode Table (Device Side) のフォーマット

Offset	Field	Size	Value	Description
0	bTableLength	1	Number	この Mode Table のサイズ
1	bMode_1	1	Number	TA(Mobile Abstract Control Model)または MT(Mobile Direct Line Model の場合)がサポートする Mode1
.
.
N	bMode_N	1	Number	TA(Mobile Abstract Control Model)または MT(Mobile Direct Line Model の場合)がサポートする ModeN

8.1.3 SET_LINK

SET_LINK は、USB ホストで使用する Mode を、USB デバイスに設定する Request である。この Request を受信した USB デバイスは、「Linked」状態になる。(7.3.2 章、9.1.2 章参照)表 8.1-7 に SET_LINK を示す。

表 8.1-7 SET_LINK

bmRequestType	bRequest	wValue	Windex	wLength	Data
01000001B	SET_LINK	Connection Model Selector	Interface	Length of Mode Table	Mode Table (Host Side)

Data フィールドに入る Mode Table のフォーマットを表 8.1-8 に、Connection model Selector 値を表 8.1-9 に示す。詳細は、[2]を参照すること。

表 8.1-8 Mode Table(Host Side)のフォーマット

Offset	Field	Size	Value	Description
0	bTableLength	1	Number	この Mode Table のサイズ
1	bMode_1	1	Number	TE(Mobile Abstract Control Model)または TA(Mobile Direct Line Model の場合)がサポートする Mode1
・	・	・	・	・
・	・	・	・	・
N	bMode_N	1	Number	TE(Mobile Abstract Control Model)または TA(Mobile Direct Line Model の場合)がサポートする ModeN

表 8.1-9 Connection model Selector 値

Connection model Selector	Value
Mobile Abstract Control Model	00h

8.1.4 CLEAR_LINK

USB デバイスがこの CLEAR_LINK を受け取ったとき、SET_LINK により設定されていた Mode の値をクリアする。これを受信した場合、そのパイプグループは何の Mode も設定されていない状態になるため、本コマンド受信以前に Mode で定義された機能は無効となる。表 8.1-10 に CLEAR_LINK を示す。

表 8.1-10 CLEAR_LINK

bmRequestType	bRequest	wValue	WIndex	wLength	Data
01000001B	CLEAR_LINK	Connection	Interface	0	None

8.2 Vendor Specific Notification

表 8.2-1 に FOMA 端末に実装されている Vendor Specific Notification を示す。

表 8.2-1 FOMA 端末に実装されている Vendor Specific Notification

bmRequestType	bNotification	wValue	wIndex	wLength	Data
11000001B	REQUEST_ACKNOWLEDGE	High Byte Current Mode LowByte 0:NG 1:OK	Interface	0	None

bNotification 値を表 8.2-2 に示す。詳細は、[2]を参照すること。

表 8.2-2 bNotification 値

bNotification	Value
REQUEST_ACKNOWLEDGE	31h

8.2.1 REQUEST_ACKNOWLEDGE

8.1 章で説明した USB Request (SET_LINK、CLEAR_LINK、ACTIVATE_MODE) が正しく処理され、Request の要求が有効になったことを通知するための Notification である。表 8.2-3 に REQUEST_ACKNOWLEDGE に示す。

表 8.2-3 REQUEST_ACKNOWLEDGE

bmRequestType	bNotification	wValue	wIndex	wLength	Data
11000001B	REQUEST_ACKNOWLEDGE	High Byte Current Mode LowByte 0:NG 1:OK	Interface	0	None

wValue に設定する REQUEST_ACKNOWLEDGE のフォーマットを表 8.2-4 に示す。

表 8.2-4 wValue のフォーマット

D7	D6	D5	D4	D3	D2	D1	D0
00:NG/01:OK							
D15	D14	D13	D12	D11	D10	D9	D8
Current Mode							

USB デバイスは USB ホストから ACTIVATE_MODE、SET_LINK、CLEAR_LINK を受信した際、受信後 10s 以内にその Request のステータスステージの ACK として REQUEST_ACKNOWLEDGE を応答する。

8.3 Modem mode

Modem mode で実装されている代表的な Request、Notification の機能について説明する。

この章の Request、Notification についての詳細は、[4]を参照すること。

8.3.1 Class Specific Request

Modem mode において、FOMA 端末で使用する代表的な CDC Class Specific Request を表 8.3-1 に示す。

表 8.3-1 Class Specific Request

bmRequestType	bRequest	wValue	wIndex	wLength	Data
00100001B	SET_LINE_CODING	0	Interface	Size of properties	Line Coding Structure
00100001B	SET_CONTROL_LINE_STATE	Control Signal Bitmap	Interface	0	None

また、各 Request の bRequest 値を表 8.3-2 に示す。

表 8.3-2 bRequest Value

Request	Value
SET_LINE_CODING	20h
SET_CONTROL_LINE_STATE	22h

8.3.1.1 SET_LINE_CODING

SET_LINE_CODING は、DTE 速度、ストップビット、パリティビット、データビットの設定を行う Request である。

この設定は、Data Class Interface や Endpoint を流れる非同期バイトストリームデータに対して適応される。つまり、ホストからデバイス、デバイスからホストの両方向のデータ転送に適応される。表 8.3-3 に SET_LINE_CODING を示す。

表 8.3-3 SET_LINE_CODING

bmRequestType	bRequest	wValue	wIndex	wLength	Data
00100001B	SET_LINE_CODING	0	Interface	Size of properties	Line Coding Structure

また、Line Coding Structure のフォーマットを表 8.3-4 に示す。

表 8.3-4 Line Coding Structure のフォーマット

Offset	Field	Size	Value	Description
0	dwDTERate	4	Number	Data terminal rate, in bits per second
4	bCharFormat	1	Number	Stop bits 0-1 Stop bit 1-1.5 Stop bits 2-2 Stop bits
5	bParity Type	1	Number	Parity 0-None 1-Odd 2-Even 3-Mark 4-Space

Offset	Field	Size	Value	Description
6	bDataBits	1	Number	Data bits(5,6,7,8or16)

8.3.1.2 SET_CONTROL_LINE_STATE

SET_CONTROL_LINE_STATE は、RS-232/V.24 の制御信号を設定するための Request である。

表 8.3-5 に SET_CONTROL_LINE_STATE を示す。

表 8.3-5 SET_CONTROL_LINE_STATE

bmRequestType	bRequest	wValue	wIndex	wLength	Data
00100001B	SET_CONTROL_LINE_STATE	Control Signal Bitmap	Interface	0	None

また、Control Signal Bitmap のフォーマットを表 8.3-6 に示す。

表 8.3-6 Control Signal Bitmap のフォーマット

Bit position	Description
D15..D2	RESERVED(Reset to zero)
D1	Carrier control for half duplex modems. This signal corresponds to V.24 signal 105 and RS-232 signal RTS. 0-Deactivate carrier 1-Activate carrier The device ignores the value of this bit when operating in full duplex mode.
D0	Indicates to DCE if DTE is present or not. This signal corresponds to V.24 signal 108/2 and RS-232 signal DTR. 0-Not Present 1-Present

8.3.2 Class Specific Notification

Modem mode において使用する代表的な CDC Class Specific Notification を表 8.3-7 に示す。

表 8.3-7 Class Specific Notification

bmRequestType	bNotification	wValue	wIndex	wLength	Data
---------------	---------------	--------	--------	---------	------

10100001B	SERIAL_STATE	0	Interface	2	UART State bitmap
-----------	--------------	---	-----------	---	----------------------

また、各 Notification の bNotification 値を表 8.3-8 に示す

表 8.3-8 bNotification 値

Notification	Value
SERIAL_STATE	20h

8.3.2.1 SERIAL_STATE

SERIAL_STATE は、Modem の状態を、状態が変化した時に通知する Notification である。表 8.3-9 に UART State bitmap のフォーマットを示す。

表 8.3-9 UART State bitmap のフォーマット

Bits	Field	Description
D15..D7		RESERVED(future use)
D6	bOverRun	Received data has been discarded due to overrun in the device.
D5	bParity	A parity error has occurred.
D4	bFraming	A framing error has occurred.
D3	bRingSignal	State of ring signal detection of the device.
D2	bBreak	State of break detection mechanism of the device.
D1	bTxCarrier	State of transmission carrier. This signal corresponds to V.24 signal 106 and RS-232 signal DSR.
D0	bRxCARRIER	State of receiver carrier detection mechanism of device. This signal corresponds to V.24 signal 109 and RS-232 signal DCD.

9 シーケンス例

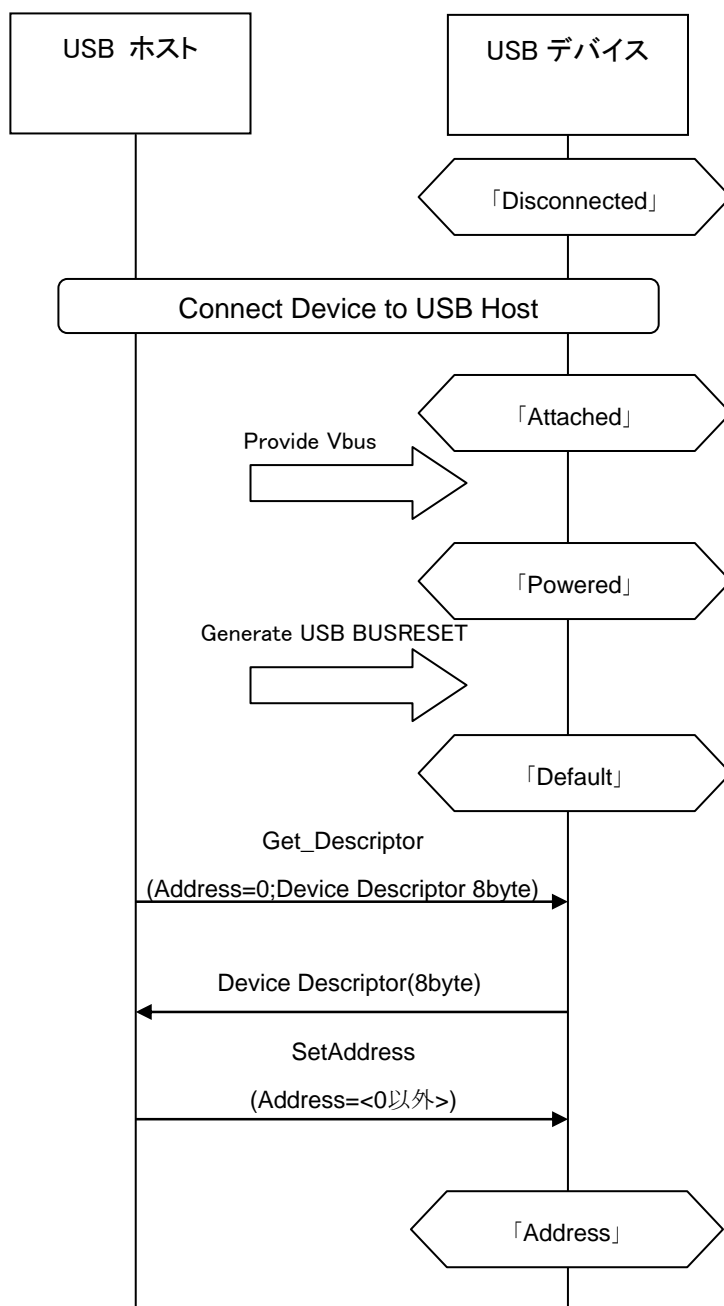
本章では、FOMA 端末を USB ホストと接続し、FOMA 端末が実際にデータを送受できる状態になるまでのシーケンス例を示す。

9.1 USB デバイス状態の遷移

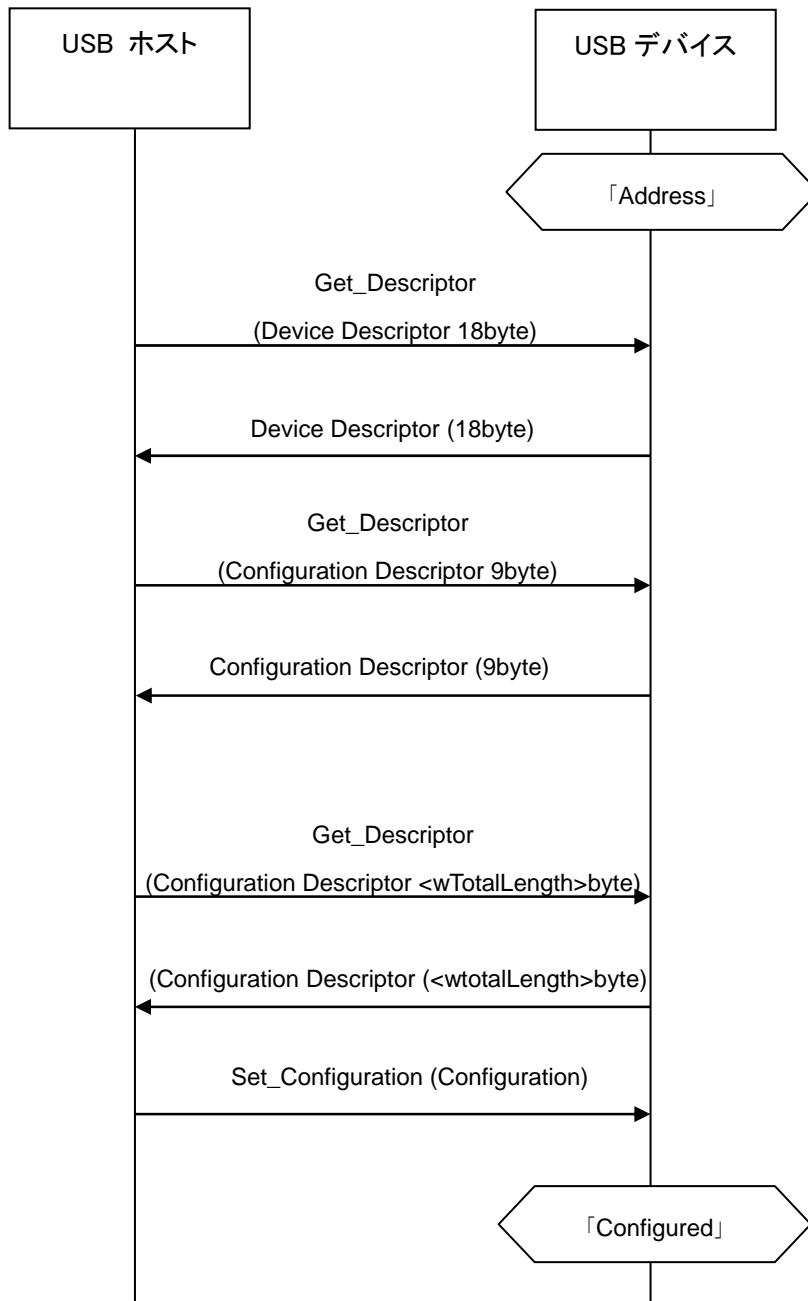
7 章で説明した USB デバイス状態の遷移のシーケンス例を示す。

9.1.1 「Disconnected」→「Address」のシーケンス例

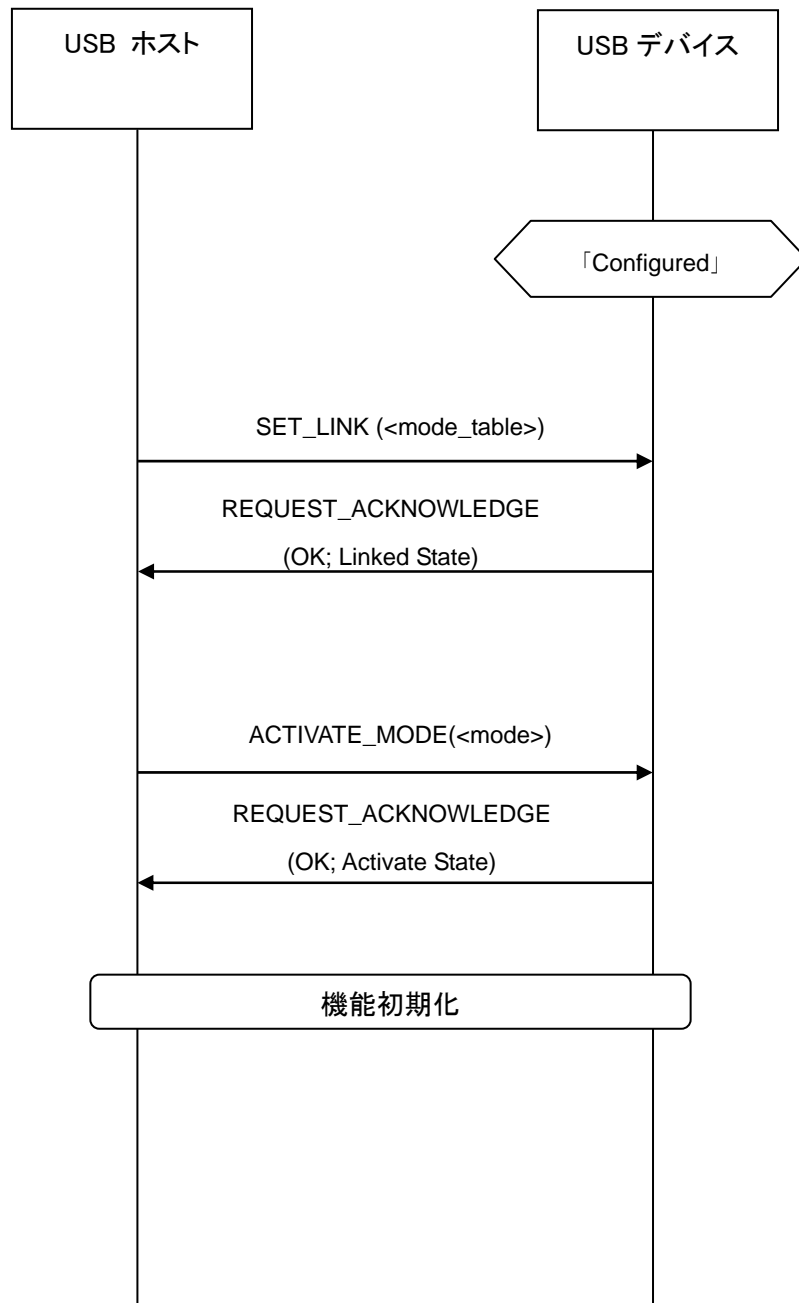
「Disconnected」とは、USB デバイスが USB ホストと物理的に繋がっていない状態である。



9.1.2 「Address」→「Configured」のシーケンス例



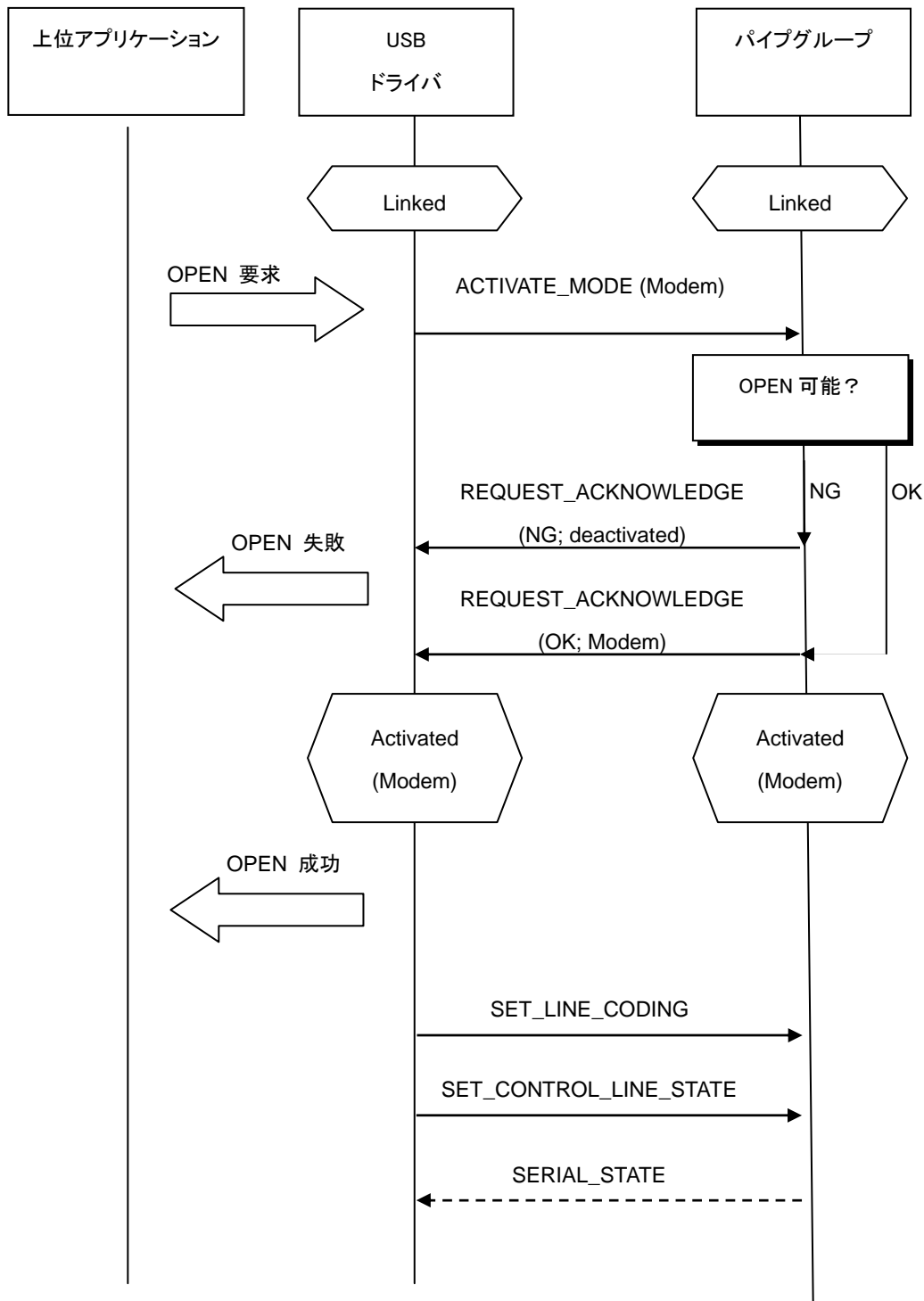
9.1.3 「Configured」→「Activated」のシーケンス例



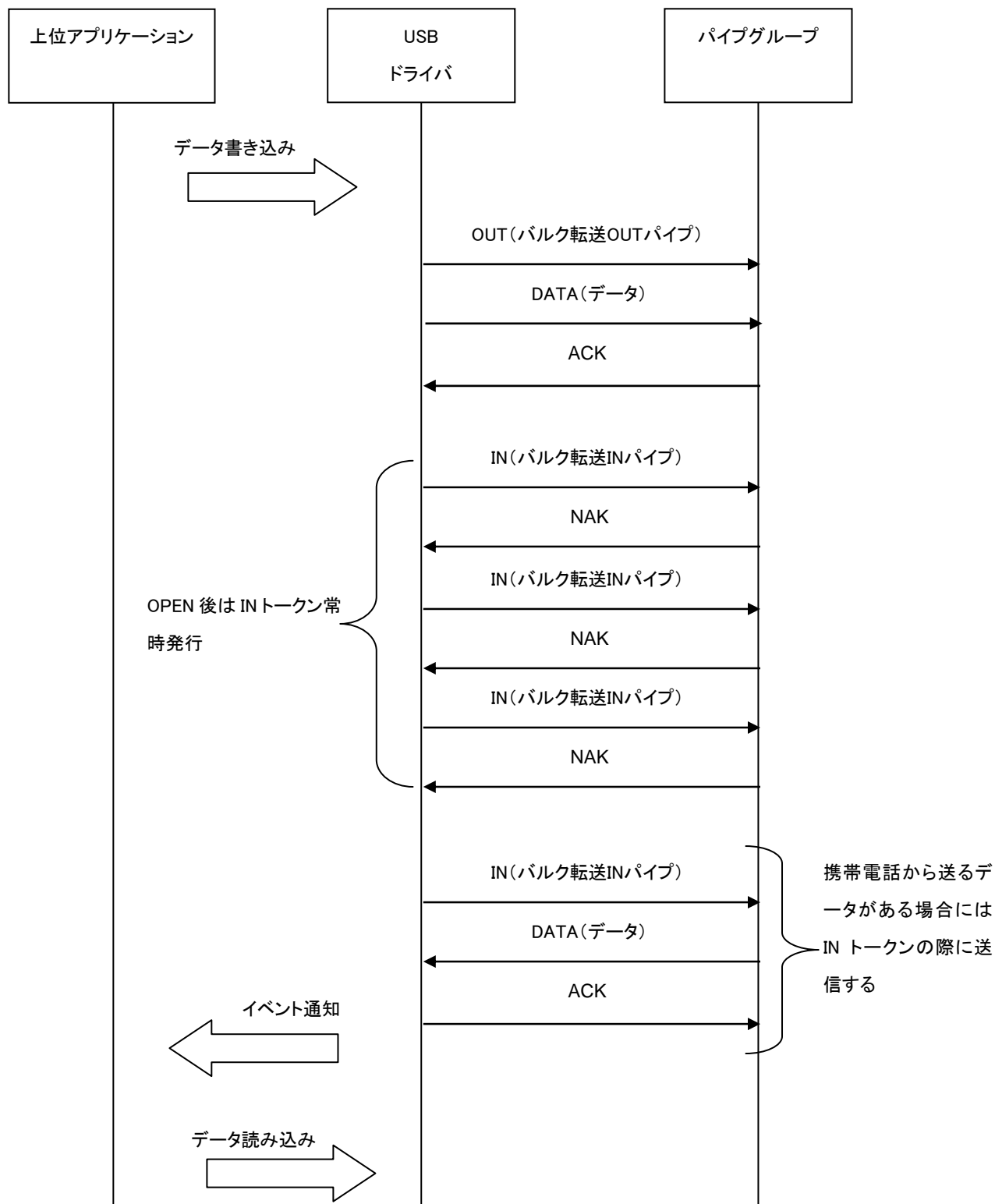
9.2 Modem mode

9.2.1 モデム OPEN

Modem mode を設定する場合のシーケンス例を以下に示す。

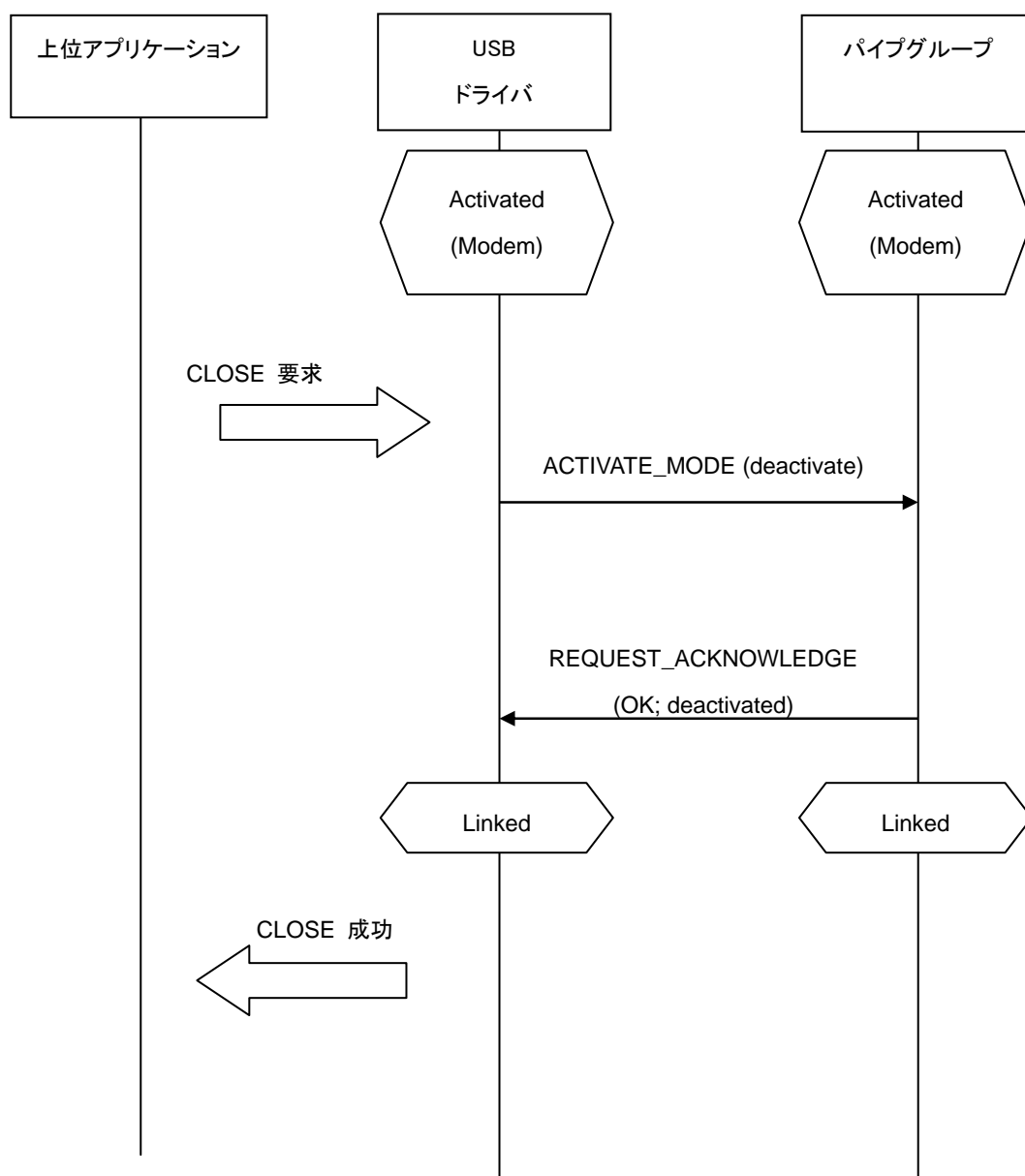


9.2.2 モデムデータ送受信



9.2.3 モデム CLOSE

Modem mode を無効にする場合のシーケンス例を以下に示す。

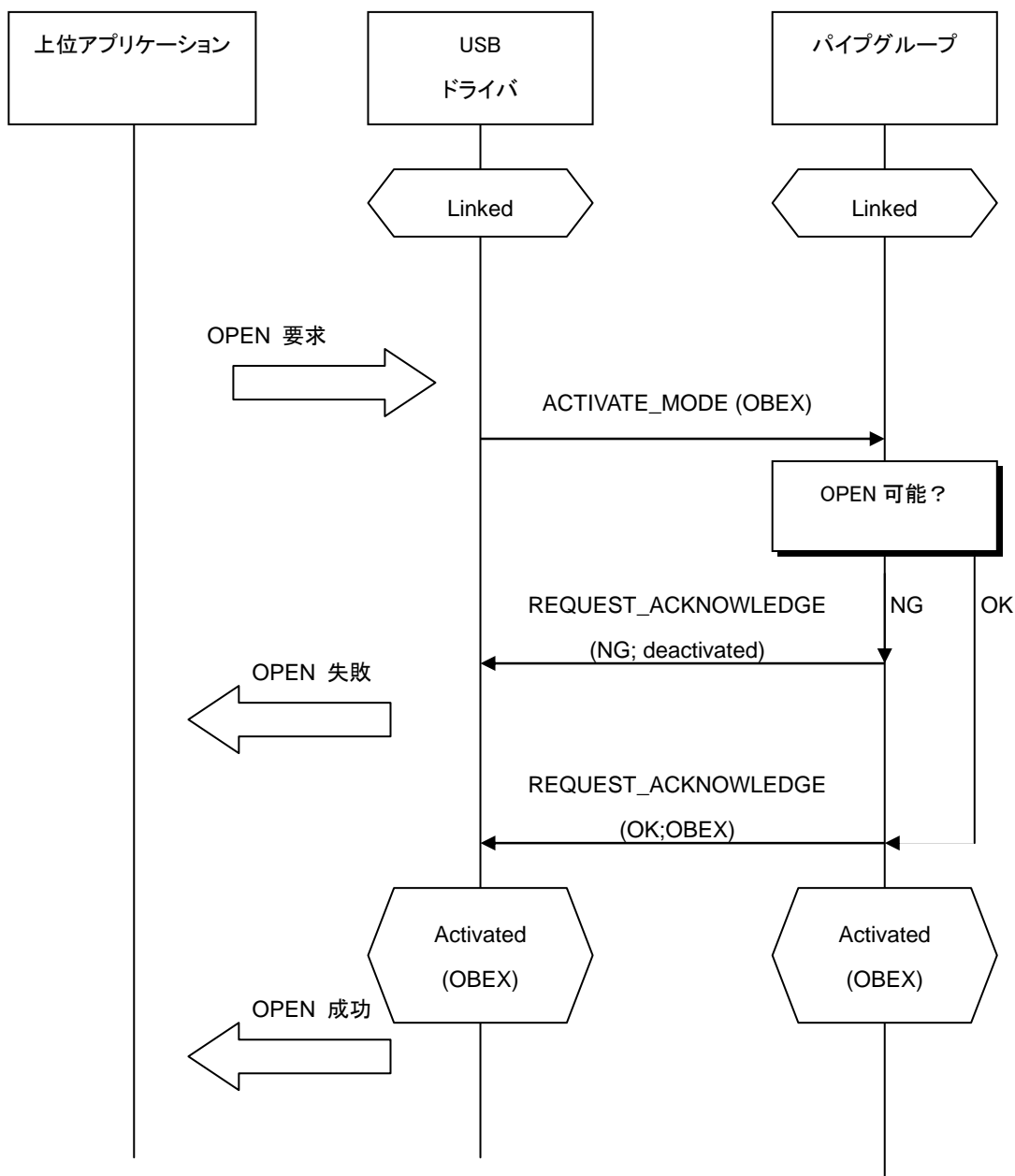


9.3 Object exchange mode

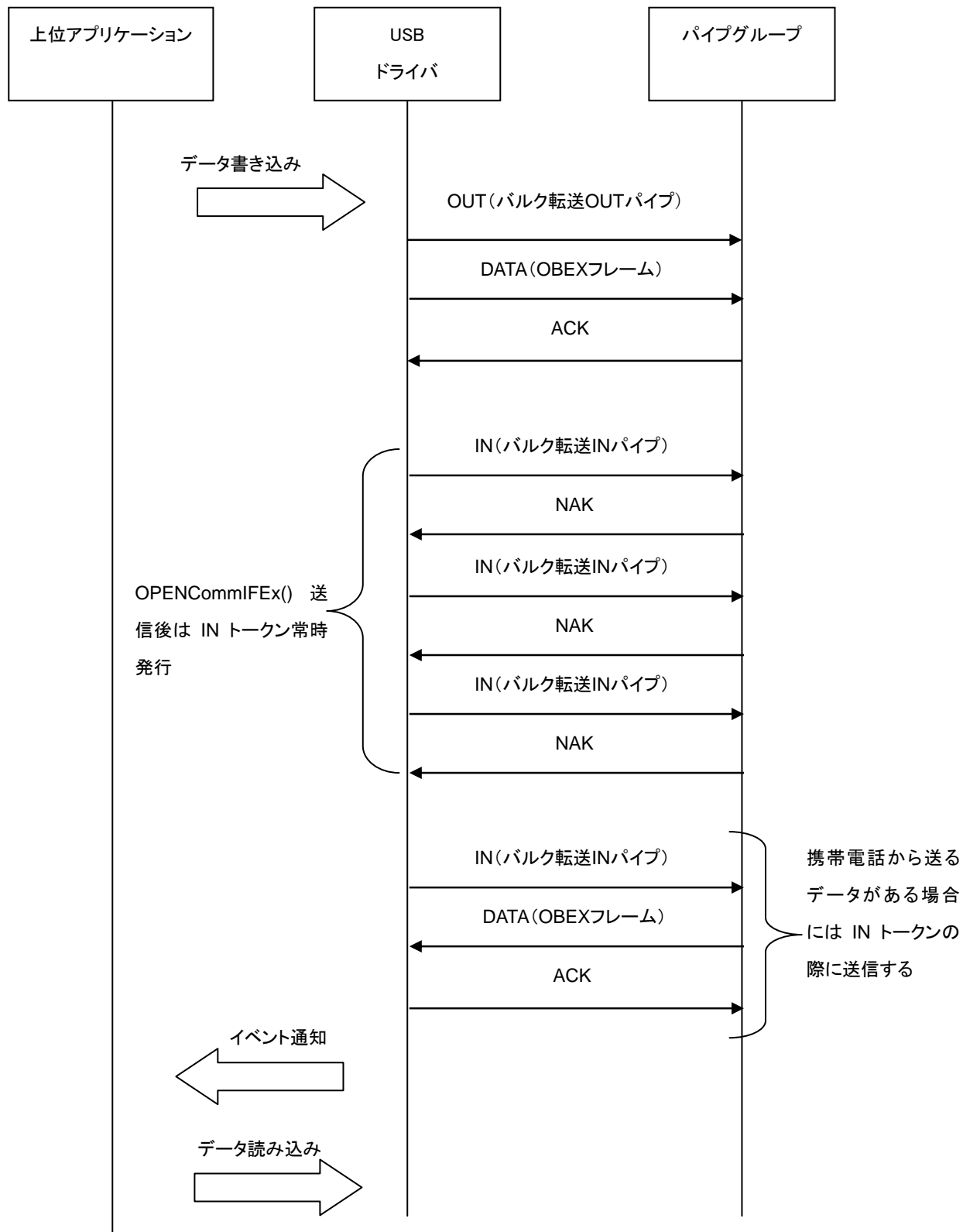
9.3.1 OBEX OPEN

Object exchange mode を設定する場合のシーケンス例を以下に示す。

USB ホストからの ACTIVATE_MODE(OBEX)に対して、REQUEST_ACKNOWLEDGE(OK)を送信すると、OBEX パイプが OPEN 状態になる。このとき、USB ホストからの OBEX CONNECT 要求に対して対応できる状態である。

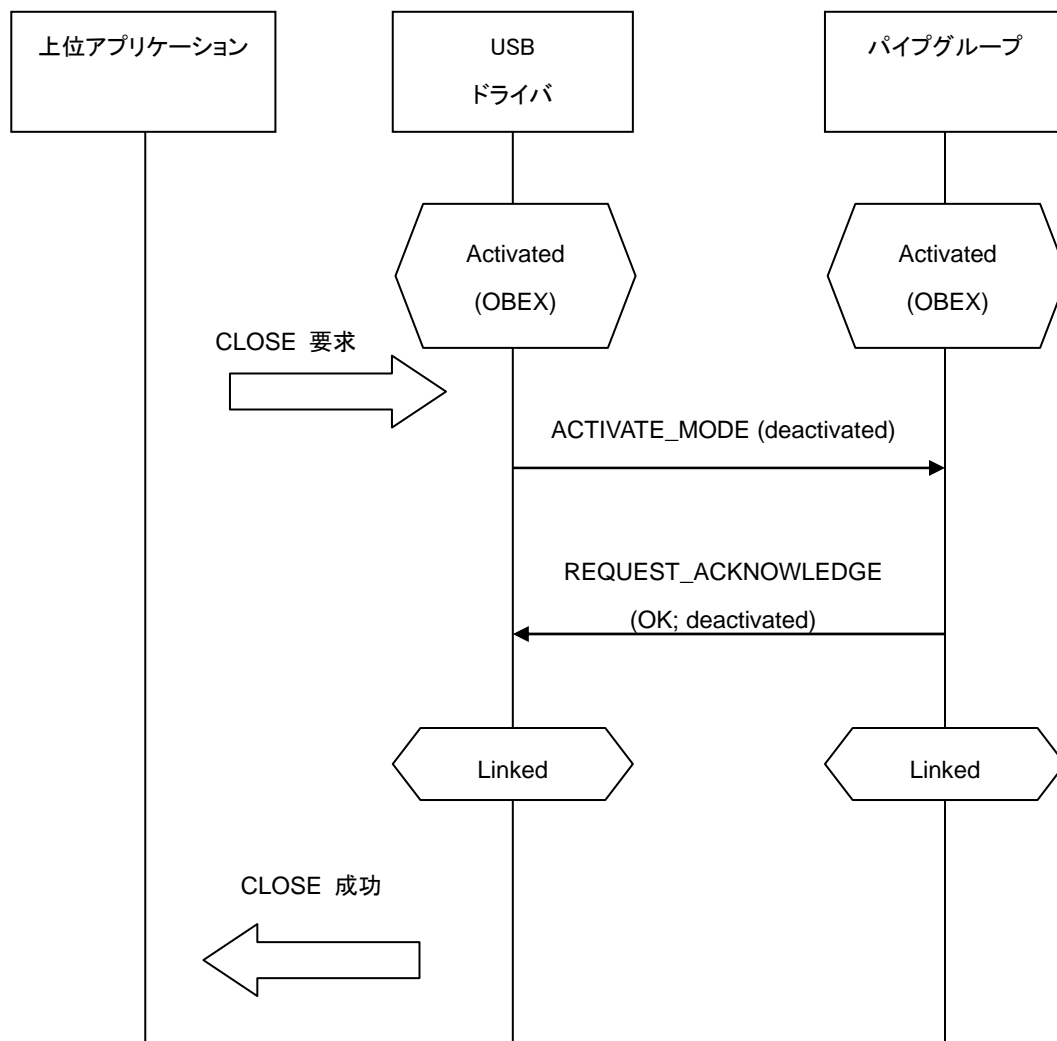


9.3.2 OBEX データ送受信



9.3.3 OBEX CLOSE

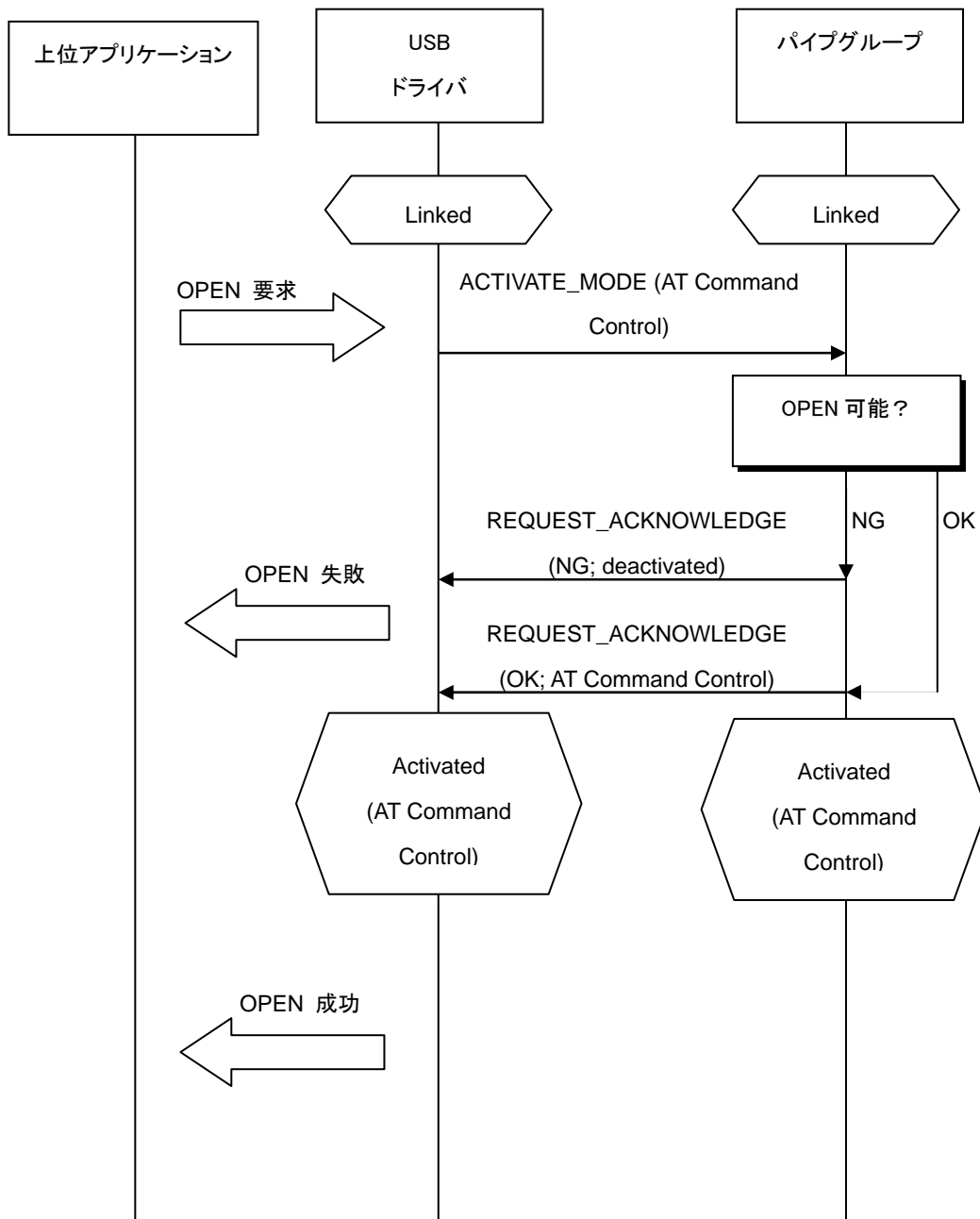
Object exchange mode を無効にする場合のシーケンス例を以下に示す。



9.4 AT command control mode

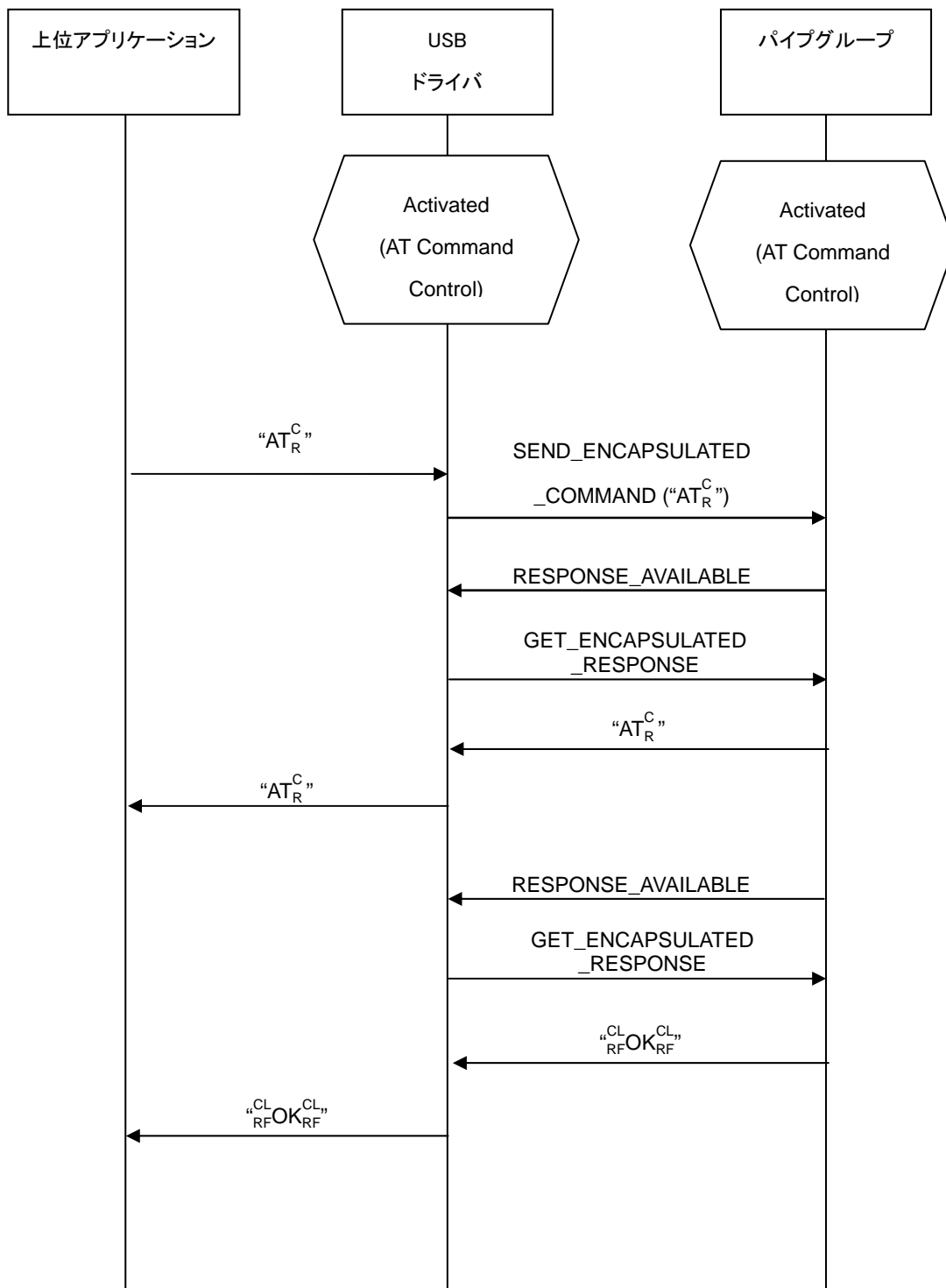
9.4.1 AT コマンド OPEN

AT command control mode を設定する場合のシーケンス例を以下に示す。



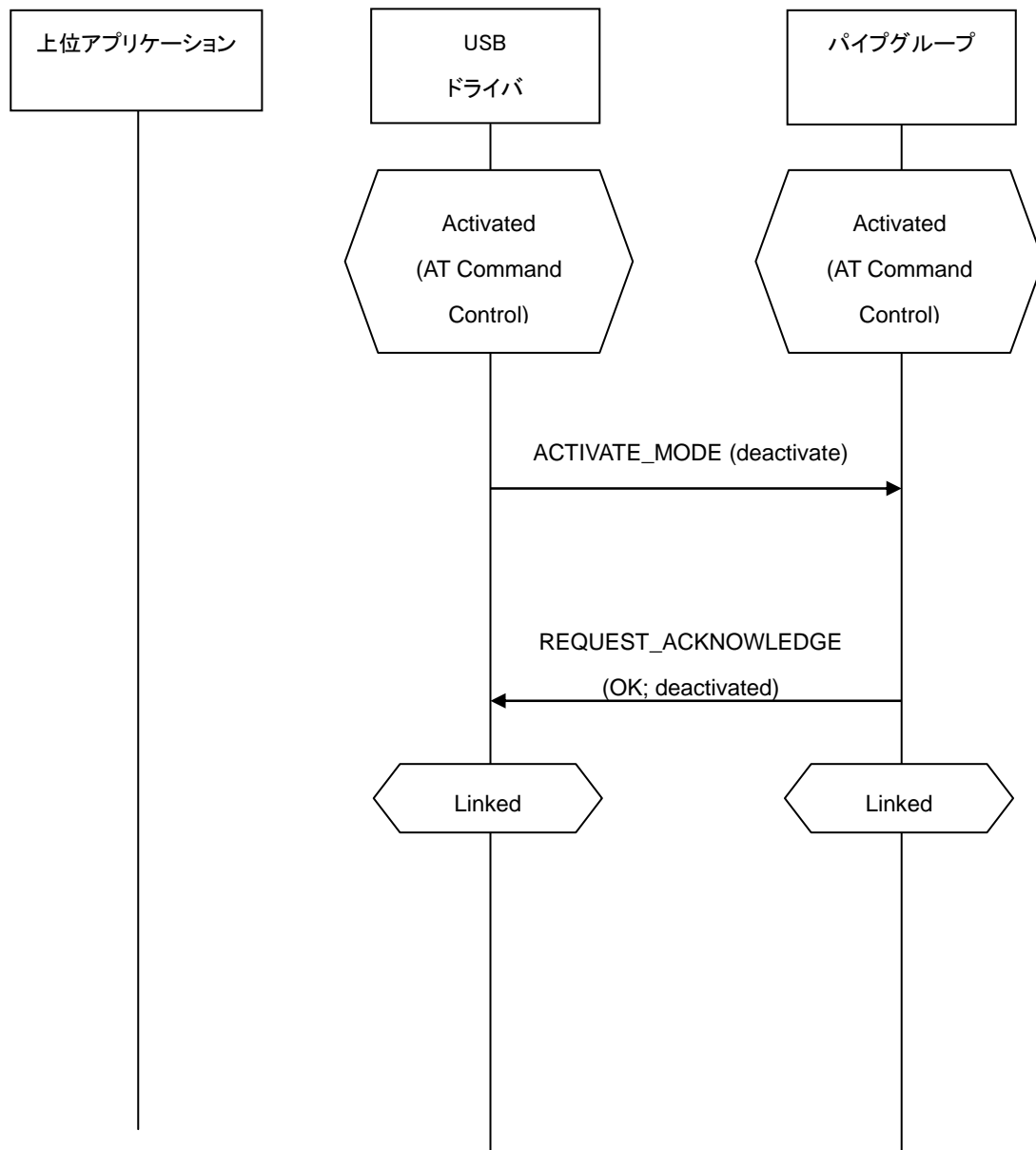
9.4.2 AT コマンドデータ送受信

AT コマンドを送受する場合のシーケンス例を以下に示す。(エコーバック有りの場合)



9.4.3 AT コマンド CLOSE

AT command control mode を無効にする場合のシーケンス例を以下に示す。



	記載箇所	種別	変更内容	変更前
1.0			初版	
1.1	2 5.1	削除	「FOMAサービスを利用するための技術参考資料」を参考資料から削除。 また、参照していた文章を削除。	
1.1	3、 5	修正	TA機能部、MT機能部という表現に修正。	TAF、MTF
1.1	6.1.1	修正	初めの文章を「USBデバイスは、(ひとつの) Device Descriptorを有する。」に修正。	「USBデバイス(ひとつの)Device Descriptorを有する。」
1.1	6.1.3	修正	Interface Descriptorの説明に誤記があったため修正。 Configurationの構成要素、Configurationの一つは含まれることを明記。	「Configuration Descriptorの構成要素の一つであり、各Configuration Descriptorには最低1つのInterface Descriptorが含まれる。」
1.1	6.1.4	修正	条件を明確にするために注記を追加。 「転送方向がOUTの場合」	
1.1	6.2	修正	USBCDC準拠のDescriptorの説明の誤記を修正。 「Communication Interface Classの一つである。」	「Communication Class Interfaceの一つである。」
1.1	6.3.1	修正	誤記を修正。 「このDescriptorは、Communication Class InterfaceのDescriptorのひとつである。」の一文を削除。	
1.1	6.3.1	修正	Mobile Abstract Control Model Specific Functional Descriptorのb_Mode値を示す表番号を修正(表6.3-3→表6.3-2)	
1.1	7.3.2	修正	「また、USBデバイスが「Activated」状態時に、USBホストから「ACTIVATE_MODE(deactivate)」Requestを受信すると、指定されたパイプグループの状態は、「Linked」状態となる。」	「また、USBデバイスがUSBホストから「ACTIVATE_MODE(deactivate)」Requestを受信すると、指定されたパイプグループの状態は、「Linked」状態へ遷移する。」
1.1	8.3.1.1	修正	SET_LINE_CODINGの説明を修正。	
1.1	8.3.2.1	修正	SERIAL_STATEの説明を修正。	

	記載箇所	種別	変更内容	変更前
1.1	9.1.2	修正	Get_Descriptor(Configuration Descriptor(<wtotalLength>byte)) の移動機側からの応答を「Configuration Descriptor(<wtotalLength)」に修正。	「Device Descriptor(<wtotalLength)」
1.1	全体	修正	適切な表現とするための微細な修正。	

ご注意

- (1) 本資料の内容の一部または全部を無断で転載及び複製することは禁止されています。
- (2) 本資料に記載された動作等は、装置の機能追加などにより追加・変更されることがあります。
- (3) 本資料は予告なく改版されることがあります。

(不許複製・禁転載)

FOMA USBインタフェースを利用するための
技術参考資料

平成20年1月25日 第1.1版 発行

編集・発行

株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ
移動機開発部

〒239-8536 神奈川県横須賀市光の丘3-5 R&D センタ
